

しまねの河川と海岸だより

平成29年6月号

発行：島根県土木部河川課

〔目次〕

- ◆ 平成29年 河川功労者の受賞者が決定しました！ 河川課 管理G
- ◆ ～松江堀川で生き物調査をしました～ 河川課 企画調査G



平成29年 河川功労者の受賞者が決定しました！

～5月26日表彰式が行われました～

河川課管理グループ

平成29年5月26日、砂防会館シェーンバッハ・サボー（東京都）において、「平成29年河川功労者」表彰式が行われました。

この表彰は、昭和24年から河川に対する国民の理解を深めるため、河川文化活動・河川愛護活動等に関して功績があった個人・団体に対し、その功績を称えるため、毎年度、公益社団法人日本河川協会が表彰を行っております。

平成29年の河川功労者は、個人43、団体47、合計90の個人及び団体が受賞されました。うち、島根県から2団体が受賞されましたので、ご紹介いたします！

松江市立来待小学校



・平成16年度から毎年継続して「みんなで調べる宍道湖流入河川調査」に取り組むなど、川をテーマにした環境学習に力をいれ、学習内容を演劇やポスターなどにより発表し、全校児童や地域住民に川をきれいにすることを呼びかけるなど河川の環境学習に尽力されています。

安来市立能義小学校



・平成18年度から毎年継続して「みんなで調べる中海流入河川調査」に参加しており、川をテーマにした環境学習に力をいれ、学習内容を演劇やポスターなどにより発表し、全校児童や地域住民に川をきれいにすることを呼びかけるなど河川の環境学習に尽力されています。

※当該表彰については、公益社団法人日本河川協会が国土交通省の一般紙・専門紙の記者クラブで記者発表しています。

～松江堀川で生き物調査をしました～

「汽水の松江堀川」魅力アップ協議会（事務局：河川課企画調査G）

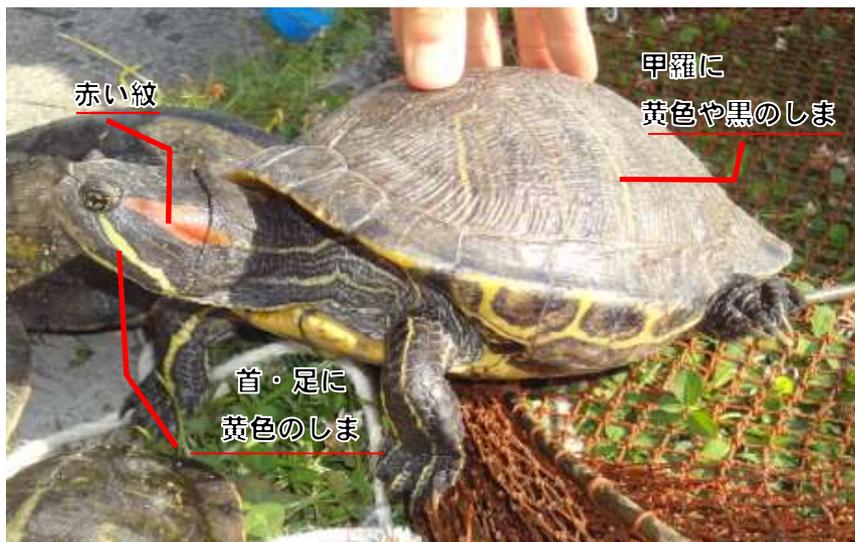
平成29年6月16日、松江堀川の生態系を把握することを目的として、生き物調査、水質調査を実施しました。（結果は次ページ参照）

汽水環境で見られるボラ、シンジコハゼ、ヤマトシジミが捕獲でき、生き物の多様性が確認できました。一方で、外来種である、ブルーギルやミシシippアカミミガメも確認され、今後、生態系へ影響してくる可能性があります

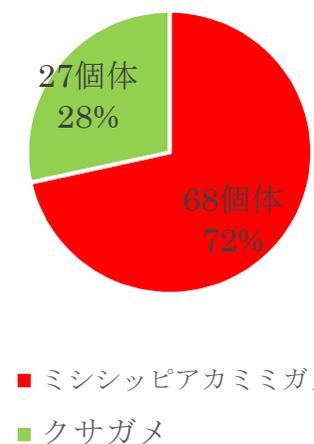
《調査状況》



ミシシippアカミミガメとは？



《調査結果（爬虫類抜粋）》



ミシシippアカミミガメ（別名ミドリガメ）は外来種であり、繁殖力が高く、水中のさまざまな動植物を食べているので、日本に元からいた生き物の生態系に大きく影響してきます。そのため、平成27年3月には、積極的に防除をしていく必要がある、「**緊急対策外来種**」に位置付けられています。

国内ではカメの6割がアカミミガメとされていますが、今回の調査で松江堀川では7割以上となっており、アカミミガメが多く生息していることがわかります。これ以上の繁殖を防ぐため、以下2点に注意してください。

- ・ **アカミミガメを見つけた際は、エサをやらない**
- ・ **飼っている場合は、捨てずに責任を持って育てる**

《今回の調査結果に対するアドバイザーコメント》

【島根県立宍道湖記念館ゴビウス：寺岡アドバイザー】

堀川水系全体としてカメ類の7割近くがアカミミガメで占められており、生態系への悪影響が懸念される。調査地点の松江北高西部に位置する中川は、土の岸部が緩やかな勾配で広めに存在することと、岸部の木立が適度な日陰を作っている。これらが生物にとって良好な環境となっているので生物が多い。アカミミガメが多数居なければ、ニホンイシガメがかつていたと推察する。その自然環境を可能な限り改変することなく保全しつつ、外来生物の防除も行った方が良く考える。

【宍道湖漁協組合；桑原アドバイザー】

中川・比津川・城山西堀川の3か所の魚類調査で、7科13種の魚類を確認できた。短時間で、多くの種類の生き物が確認され、堀川の生物相の豊かさを感じることができた。純淡水魚7種、汽水・海水魚3種、回遊魚3種と、汽水環境の堀川らしい種構成となっていた。絶滅危惧種では、シンジコハゼの生息を3か所すべてで確認できた。宍道湖では減少傾向にあるが、堀川は、本種の重要な生息場所の一つになっていると考えられる。生まれたばかりの、フナ類やミナミメダカの稚魚も多く確認され、小さな子供でも、簡単に魚とりなどの水遊びができるように感じられた。

さて、今年の中川は、場所によっては水草や藻類が川を覆い尽くすように繁茂している。投網が打てず、調査を断念した地点も多かった。これらの水草や藻類は、やがてすべてが枯れて腐り、水質や生物にも影響を与えられ、今後心配を感じた。

《生き物調査結果》

種類	名称	数量 (個体)	生活域	備考
魚類	フナ類	33	淡水	
	ナマズ	2	淡水	
	ヌマチチブ	19	回遊	
	ブルーギル	3	淡水	特定外来種
	ミナミメダカ	7	淡水	貴重種
	ウキゴリ	2	回遊	
	シンジコハゼ	11	汽水・海水	貴重種
	ゴクラクハゼ	2	回遊	
	シラウオ	1	汽水・海水	
	ボラ	17	汽水・海水	
	ホンモロコ	2	淡水	国内移入種
	ワタカ	1	淡水	
	スゴモロコ	1	淡水	
爬虫類	ミシシippアカミミガメ	68	淡水	緊急対策外来種
	クサガメ	27	淡水	在来種(外来種説あり)
甲殻類	テナガエビ	3	汽水・海水	
	ニホンイサザアミ	10	汽水・海水	
	スジエビ	11	淡水	
昆虫類	イトトンボのヤゴ	3	淡水	
	ハダコトンボのヤゴ	1	淡水	
	シオカラトンボのヤゴ	1	淡水	
貝類	ヤマトシジミ	5	汽水・海水	
合計		230		

回遊：生活の中で海と川を行き来する種

国内移入種：国内の他地域から移入してきた種

《水質調査結果》

調査箇所	COD (ppm)	透視度 (cm)	塩分濃度 (パーミル)
①京橋川	8	100	4
②四十間堀川	8	100	2
③城山内堀川 (大手門前側)	4	100	3
④城山西堀川	6	100	5
⑤城山内堀川 (千鳥橋付近)	4	44	4
⑥北田川	6	50	4
⑦中川	8以上	18	1
⑧比津川	8以上	16	0
平均値	6.5	66.0	2.9
参考値	宍道湖 5.7 中海 5.6	清流ルネッサンス目標値 30	宍道湖 1~5 中海 10~20

CODの平均値は⑦、⑧の値を8として算出しています

【編集後記】 河川課 企画調査グループ 藤岡

今月は、松江堀川生き物調査を行い、たくさんの生き物が見つかりました。中でもミシシippアカミミガメが68匹と多く見つかりました。ミシシippアカミミガメのオスとメスの見分け方は、前足の爪と尻尾を見れば区別がつくことがわかりました。ミシシippアカミミガメを見かけたときは、よく観察してみると面白いですよ。

- ・オスは、前足の爪が長い、尻尾が太く長い
- ・メスは、前足の爪が長くない、尻尾が細く短い

オス（前足の爪は長い）



メス（前足の爪は長くない）



さて、島根県河川課では、今後も河川・海岸に関する話題・情報を提供したいと思います。

バックナンバーは河川課ホームページにも掲載していますのでご覧ください。

編集者 島根県土木部河川課企画調査グループ

TEL : 0852-22-5647 FAX : 0852-22-5681

mail : kasen@pref.shimane.lg.jp

河川課 しまねの河川と海岸だより HP : <http://www.pref.shimane.lg.jp/infra/river/kasen/tayori/>